



生きものの“つぶやき”：
「電柱に止まるのもいいな、、」

エッセイ：

セミが逆光でかっこよく見えたので撮ってみました。僕の中では、セミは木に止まっている印象だったため、電柱に止まっているセミを見た時は少し驚きました。そのため、このようなつぶやきにしました。ずばり、このつぶやきに返答するなら、「そこ止まるんだ君」と返答すると思います。

僕は、生きものとの共存と聞いた時に、世界の終わりさんの「虹色の戦争」という曲が頭の

中に出てきました。この曲の歌詞に、

「青色の空に神様がきて 願いを1つ叶えるなら 花や虫は何を願うのだろう」

という歌詞があり、その次の歌詞にはこのようなことが書かれています。

「青色の空に神様がきて 願いを1つ叶えるなら 僕等の命の炎は消えてしまうのだろう」

この2つの歌詞を解釈すると、虫や花は願いを1つ叶えるなら、人間の命を落としてほしいという願いをするだろうと解釈できます。小学生の時に初めてこの歌詞を聴いた時はすごい胸に刺さったことを覚えています。小さい子どもは、アリを潰したり、虫を捕まえては虫籠の中に入れ、虫が外に出れないようにしてしまいます。今思うと、それは虫にとってとても苦しいものだったのだと考えさせられます。そのため、部屋に虫が入ってきた時はすぐ殺すのではなく、外に返してあげようと心がけています。弱肉強食のこの世界では、そんなの間違っていると言われるかもしれませんが、人間ばかりが良い気持ちをしているのに嫌気がさしている自分がいるため、これからも虫や花などの生きものに優しくしていきたいです。(623字)

生きものの紹介:

セミ

撮影場所・日時:

電柱 2023年8月18日

応募者の自己紹介:

1. 氏名：前島 吏玖
2. 高校・学年：佐野日本大学高等学校・1年
3. 所属：特になし

審査員からのコメント:

晩夏の懐かしい風景。